

単元を見通す

1年 4章「変化と対応」・・・17時間（啓林館）

単元目標

〔比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。〕

【知識及び技能】

- ① 関数関係の意味を理解すること。
- ② 比例、反比例について理解すること。
- ③ 座標の意味を理解すること。
- ④ 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すこと。

【思考力、判断力、表現力等】

- ⑤ 比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすこと。
- ⑥ 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。

なぜ学ぶのか



単元のスタート時に、学習内容が身に付いた生徒の「単元のゴール時の姿」をイメージすることが大切です。



単元 スタート



現実の世界における数量の関係を数学の世界において考察するために

1節

- ① 関数関係の意味を理解する (3)

()は、時数を表しています

2節

- ② 比例について理解する (1)
- ③ 座標の意味を理解する (1)
- ④ 比例を表、式、グラフなどに表す (4)

3節

- ② 反比例について理解する (1)
- ④ 反比例を表、式、グラフなどに表す (3)

4節

- ⑤ 比例、反比例として捉えられる二つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだす
- ⑥ 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現する (2)

知識・技能の習得を目指す授業の工夫例

思考力・判断力・表現力を育成する授業の展開例

展開例Ⅰ

展開例Ⅱ

展開例Ⅲ

展開例Ⅳ

単元 ゴール

関数関係に気付くことができたわ。

変化や対応の様子を、表、式、グラフで表すことができたよになったよ。

身近なところにある比例や反比例の関係を見付けることができたよになったわ。

比例や反比例の関係を利用すると、未知の状況を予測することができるよになったよ。